



U

RAYASU

S TYLE

Vol. **41**
2020.09



学校休業から学校再開、そして、今 読書を通して豊かな心を育む

夏休み前の最後の登校日 北部小学校

6月1日から学校が再開され、今年度は、終業式をいつもより遅い7月31日に行いました。いつもより短い夏休みを迎える子どもたちの笑顔は、いつもと変わらないようです。



コロナ禍における新しい学校生活様式を模索中！

昨年度末から今年度当初にかけておよそ3か月にわたって学校休業を余儀なくされ、この間、学校生活においては『別れ、旅立ち（卒業等）』と『出会い、スタート（新入学、進学・進級等）』という子どもたちの成長にとって大切な節目、時間が失われました。また、子どもたちのみならず教職員や保護者等多くの大人たちが「学校や学校教育」という空間や機能の存在意義や価値を見直すきっかけとなりました。学校は再開されましたが、コロナ禍以前とは異なり新たな対応が求められています。子どもたちの安全・安心はもとより、教職員や保護者、地

域の方々をはじめ、学校関係者全ての安全確保、そして、学校の持つ機能の保証を推進していく必要があります。そのような中、各学校では、PTAや有志の方々による消毒や清掃活動にご協力をいただいているとのうれしい報告が届いています。

先日、市PTA連絡協議会長より「情報教育の充実を求める要望書」をいただきましたが、その中で「もっと学校はPTAを頼ってください」と、同席していた市校長会長への言葉かけに私は感動しました。ここ最近忘れかけていた「子どもを真ん中において先生と親が共に汗を流す」精神もまたコロナ禍において見直されるべきだと強く感じた次第です。

浦安市教育委員会 教育長 鈴木忠吉

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための 学校休業から学校再開、そして、今

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、3月2日から全国全ての小・中学校、高等学校、特別支援学校に臨時休業が要請され、浦安市の園、小・中学校も3月2日から一斉休業となりました。

新年度を迎えた4月以降、子どもたちの健康、安全を第一に考えながら、園、学校の再開に向けて、様々な取り組みを行ってきました。

4月8日～10日 特別連絡期間

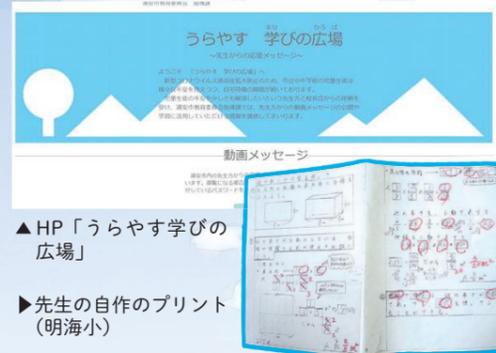
入学式は延期となりましたが、クラスの決定や担任の先生の紹介などのための連絡期間を設けました。

担任の先生に話しかけられる姿や、ドキドキしながら、誰と同じクラスになったのかを確認する姿が見られました。



▲新しいクラスを外の掲示板で発表する (浦安中)

▶1年生に言葉をかける担任の先生 (浦安小)



▲HP「うらやす学びの広場」

▶先生の自作のプリント (明海小)

4月～5月 オンライン等での学びの場

休業中の子どもたちの学びを支援するため、各学校が作成した学習動画や学習支援にかかるウェブサイトを紹介したホームページを作成しました。

また、学校に整備されているタブレットを必要に応じて貸し出し、誰でもオンライン学習が行えるようにしました。

学校のホームページに課題を示したり、先生がプリントを作成したりするなど子どもたちが自分で学習を進められるように支援しました。

5月11日～29日 学校の再開に向けて

子どもたちがスムーズに学校生活に移行できるように登校日を設けました。週に1日、1時間程度から徐々に日にちや時間を増やしていきました。



▲体育館で間隔を空けて集まる (明海小)

▲クラスの半分の人数で授業を行う (美浜南小)



▲午前と午後クラスが半ずつが分かれて登校する (見明川小)

8:20～11:20
各クラスのAグループ
13:00～16:00
各クラスのBグループ

6月1日 園、学校の再開

市内の園、小・中学校が再開されました。感染症対策を講じながら1日から12日までの2週間は各校(園)の実態に応じた分散登校で3時間程度の学習を行いました。

◀手洗い場の密を避けるための表示 (見明川中)

6月4日、6日 入園式・入学式

延期となっていた入園式が4日、入学式が6日に行われました。学校規模に応じて、2回、3回に分けて実施する学校もありました。式が終わると先生たちが椅子を消毒し、次の式に備えていました。

式を終えた小学1年生は「立って、しっかり返事ができた」と誇らしげでした。



▲6日の午前に行われた高洲北小学校の入園式



▲2回目の式に備えて消毒する先生たち (高洲中学校)



▲6日の午後に行われた高洲中学校の入学式



▲神明認定こども園の入園式

6月15日 給食開始

15日から小・中学校では給食が始まりました。小学1年生にとっては初めての給食です。「1年生の配膳は先生が行う」「全員が机を前に向けて食べる」など感染症対策を行い、みんなで給食をおいしそうに食べていました。



▲1年生の配膳の様子 (南小学校)

▲全員が机を前に向けて食べる (南小学校)

▶一人ずつ火おこし体験を行う (東小学校)



▲ICTを活用した読み聞かせ (美浜南小学校)

▶タブレットを使った双方向のやり取り

6月～7月 新しい学校生活様式

密閉、密集、密接を避けながら、工夫した教育活動が展開されています。本の読み聞かせは、ICTを活用し、席に座ったままでも本の絵が見えるようにしています。郷土博物館が行う火おこし体験は、いつもはグループで協力して行うのですが、上手に足で板を押さえながら、1人で火をおこそうと頑張っていました。



▲橋爪会長から鈴木教育長に要望書が提出される

これからの学校

集団感染のリスクを回避するために、基本的な感染症対策を実施し続けることや子どもたちに新型コロナウイルス感染症の予防方法を身に付けさせることが必要です。このような新しい学校生活様式を実践することが求められています。

一方で、子どもたちの学習環境を整備することも重要です。文部科学省のGIGAスクール構想の実現に向けて、現在、各学校に40台程度整備されているタブレット端末は、3人に1台程度の割合で使用できるように10月に追加配備されます。そして、年度末までに1人1台の環境が整う予定です。

また、双方向のやり取りができるためのネットワーク環境の整備も進めています。

このようなICT環境の整備については、浦安市立小中学校PTA連絡協議会長からも、ICTを活用した学校と児童生徒とのコミュニケーションを行う方法を整備することを求めた要望書が教育長に手渡されました。

今後、より一層、ICT環境を整え、その活用について推進していきます。

読書を通して豊かな心を育む

中央図書館 リニューアルオープン

「居心地の良い図書館」「出会いのある図書館」「可能性を開く図書館」をコンセプトに、今まで以上に明るく、より開放的な図書館になりました。



リニューアルオープンした中央図書館



児童フロア

のびのびひろば

中高生にお薦めの本が
紹介されている
読み聞かせにお薦めの本が並んでいる

児童フロア

図書館の入口を入って右側の児童フロアは、子どもたちが安心して本と触れ合える居心地の良い空間です。のびのびひろばでは、靴を脱いでくつろぐことはもちろん、奥のおはなしの部屋では、「えほんのじかん」や「おはなし会」などのイベントも開かれます。また、どのような本を読もうかなと考えている人のために、本を紹介するコーナーが設置されています。季節に合った本や中高生向けの本を紹介するコーナーもあり、思わず手に取ってみたいくなります。

読書通帳

中央図書館と各分館に読書通帳機が設置されました。銀行通帳の記帳のように、図書館で借りた本を記録することができます。

小・中学生は、学校の図書館で借りた本も記録することができます。

自分の読んだ本が貯金されるみたいで、たくさん本を読みたくなりますね。



記帳された読書通帳



読書通帳に記帳している様子



えほんのじかんの様子



ブックリスト「よむよむ」

本に出会える図書館

「えほんのじかん」や「おはなし会」、年齢に応じたブックリスト「よむよむ」など図書館には、本に出会える機会がたくさん用意されています。

令和2年9月に「浦安市子ども読書活動推進計画（第三次）」を策定しました。家庭、地域、市立図書館、園、学校等が相互に連携し、子どもたちが本に親しみ、読書習慣を身に付けられるように子どもたちの読書活動を推進していきます。

司書さんお薦めの本

図書館には、本について教えてくれる司書さんがいます。司書さんにこの秋にお薦めの本を聞いてみました。

● せかい いち おいしいスープ

マーシャ・ブラウン／文・絵 こみやゆう訳 岩波書店

おなかをすかせた3人の兵隊がある村に訪れました。おなかをすかせた兵隊たちは食べ物を求めましたが、村には食べ物はないと言って断られてしまいました。しかたなく3人は大きな鍋を借りて、石でスープを作ることにしました。さて、どんなスープが出来上がるのでしょうか？



司書 鹿島かがりさん

司書 高橋泰代さん



● おばあちゃんをつくったよ！おいしいほしがき

細川剛／写真 宇部京子／文 株式会社ひさかたチャイルド

しふい柿は食べられません、おひさまの光を浴びて干し柿になれば、立派な保存食になります。そんな干し柿の作り方をおばあちゃんの手仕事を通して紹介している写真絵本です。最終ページには、干し柿の作り方も載っています。ぜひ、干し柿づくりに挑戦してみませんか？

● 火曜日のごちそうはヒキガエル

ラッセル・E・エリクソン／作 ローレンス・デイ・フィオリ／絵 佐藤涼子／訳 評論社

ヒキガエルの兄弟モートンとウォートンは、仲良く土の中で暮らしていました。そんなある日、ウォートンがおばさんを訪ねるために出かけると、ミミズクにさらわれてしまいました。ミミズクは、火曜日の自分の誕生日に食べようとしていたのです。ごちそうはごちそうでも、まさか自分がごちそうになるうとは…最後にミミズクから逃げ出すことができるのでしょうか？ヒキガエル兄弟が登場するシリーズもおすすめです。



司書 田本みのりさん

学校図書館を活用した授業づくり

授業で学校図書館を活用する効果的な方法について、小・中学校の先生たちが研修を行いました。講師の日の出小学校の学校司書佐藤さんから「先生たちの授業づくりや準備のために学校司書がいる」などの話を聞いた後、学校図書館を活用した授業についてグループごとに話し合いました。

学校司書佐藤さんから話を聞く



学校図書館を活用した授業を考える

浦安の子どもたちのために様々な場面で活躍してくださっている方たちを紹介します。



学校司書



学校司書を代表して、堀江中学校、南小学校、舞浜小学校の図書室で働く学校司書の3名の方にインタビューしてみました。

学校司書の仕事を教えてください



舞浜小学校学校司書
中川まそみさん

中川 小学校には図書の時間があり、図書室で子どもたちに大型の絵本を使って読み聞かせをしたり、本選びの手伝いや読書の指導、それと本の貸し出しや返却手続きをしたりするなど多岐にわたります。本選びでは、なるべく新たな発見が得られるようなものを薦めています。

山田 中学校では授業支援という仕事大切です。各教科の授業内容に沿って関係する書籍を探し出し、教室でその中身を紹介し、生徒たちが授業への理解をより深められるようにするものです。

ふだんから心がけていること、大切にしていることは何ですか？

木寺 本選びを的確に支援することです。子どもによって本選びの要望は千差万別です。会話や雰囲気からその子が求めている本を推測し、「これはどうかな」と提示し、サポートしています。



南小学校学校司書
木寺泉さん

山田 中学生になると心理学や経済学など専門性の高い本を探す生徒も出てきます。それに対して、すぐに勉強をして可能な限り難しい要望にも対応できるように心がけています。



堀江中学校学校司書
山田絵利子さん

どんな時にやりがいを感じますか？

中川 読み聞かせをしたことで、その本に興味を持ってくれた時にやりがいとうれしさを感じます。本を介した子どもたちとの会話はいろいろな方向へと発展し、そこでは子どもたちから教わることもあるし、刺激も受けます。この仕事をしてよかったと思う瞬間ですね。



大型絵本による読み聞かせ

木寺 子どもたちに本が持つ優れた機能をうまく伝えられたときです。現代はインターネットで情報を簡単に収集できますが、例えば文学作品にはネットでは味わえない人の情感などが緻密に描き出されています。こうした本を読むことでこう話せば相手はどう受け止めるかといった感覚を養い、磨きをかけてほしいのです。

今後、取り組みたいことは何ですか？

中川 図書室を誰もが気軽に立ち寄れる開かれたところにしていきたいですね。本に接することで創造力を育み、いろいろな疑似体験をし、視野を広げてほしいです。本を読むことは自分の新たな一面を知ることにも通じます。



朝の読書の時間に読むお薦めの本を紹介するコーナー（堀江中学校）

山田 図書館には読書センターのほか情報学習センターとしての機能もあります。このため最近、SNSをめぐる問題が目立ってきていることもあり、ネットリテラシーとか情報リテラシーを体系的に身に付けられる支援ができればと思っています。

木寺 読み聞かせを通じ日本の昔話をもっと知ってほしいとの思いを強くしています。昔話には独特のリズム感があるし、昔話が伝わった地域の方言も多く使われています。昔話の面白みを知って豊かな心を育ててもらいたいと思います。



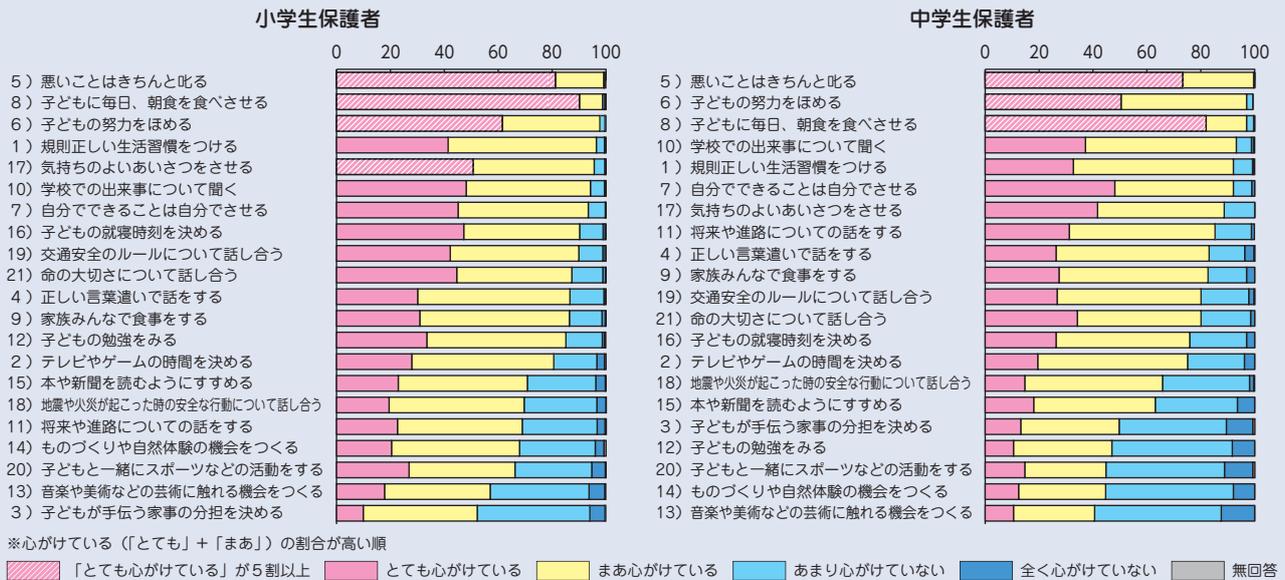
保護者が中心となって活動する図書館ボランティアが作成した、図書室の掲示物（南小学校）

調査から見える 浦安っ子

令和元年度に実施した「小中学校保護者及び教員の教育に関する意識調査」では、家庭における子どもとの関わりなどについて、小・中学校の保護者約1200人にアンケートを行いました。

令和2年9月に策定した「浦安市子ども読書活動推進計画（第三次）」からは、子どもたちの読書活動の状況を垣間見ることができます。

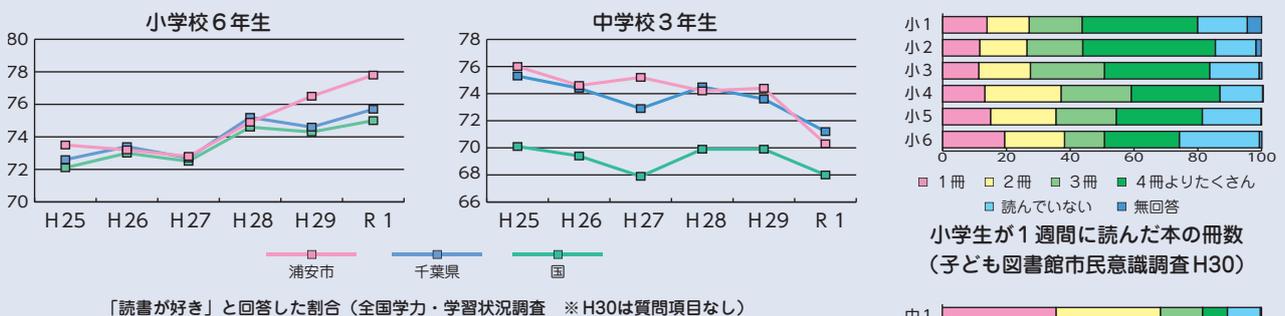
お子さんとの関わりについておたずねします。あなたのご家庭ではお子さんに対して、次のようなことをどれくらい心がけていますか。一番近いものに○をつけてください。



子どもに対して「悪いことはきちんと叱る」「子どもに毎日、朝食を食べさせる」「子どもの努力をほめる」ことを多くの保護者が心掛けていることがわかります。

小学生には「就寝時刻を決める」「交通安全のルール、命の大切さについて話し合う」、中学生には「将来や進路についての話をする」「正しい言葉遣いで話をする」など、発達段階に応じた言葉かけを行っていることがわかります。

「読書が好き」と回答した割合と、小学生が1週間、中・高生が1カ月に読んだ本の冊数



「読書が好き」と答えた小・中学生の割合はどちらも70%以上であり、小学6年生では国や県よりも高い割合です。

小学生では1週間、中学生は1カ月間に本を1冊以上読んだ人の割合は70%を超えていますが、高校生になると本を「読んでいない」割合が高くなります。

中学・高校生が1カ月に読んだ本の冊数（子ども図書館市民意識調査H30）

8月22日

郷土博物館で 夕涼み

◀ 駄菓子屋での買い物

夏の夕暮れを楽しんでもらえるよう「博物館で夕涼み」が行われました。提灯でライトアップされた屋外展示場は、活気ある昭和



20年代の一番通り（今の堀江のフラワー通り）にタイムスリップしたような雰囲気になりました。



▲蚊帳に入って記念撮影

密にならないように10名程度のグループごとにツアーガイドの案内で、昔遊び、井戸体験、この日限定のべか舟乗船体験などを楽しみながら、昔の浦安の生活を体感できました。

南小学区では令和3年度から 特定地域選択制が利用できます

特定地域選択制とは

特定地域とする南小学区にお住まいの方は、南小学校の他、隣接する浦安小学校、東小学校、東野小学校への就学を選択することができる制度です（右図参照）。



特定地域選択制の目的

南小学校の児童数はここ数年1000名前後と市内で最も規模の大きい学校です。この傾向は今後も続くことが予測されていることから、南小学校の大規模状態を緩和し、子どもたちの教育環境をより良くすること、大規模校以外の学校に就学できる選択の機会を設けることが目的です。

対象者

令和3年度以降に入学する児童と、今年度に限り、南小学校に在籍する1～5年生です。

問い合わせ 教育総務部教育政策課

ひとりで
悩まないで！

相談窓口のご案内

子どものこと、学校のこと、進路のこと
お気軽にご相談ください ※祝日は休み

相談名	相談内容	対象	相談日と期間	相談場所と電話番号
子育て	子育てに関する相談	0歳～就学前児とその保護者	月～金曜日 9:00～16:00	①子育て相談室（集合事務所3階） ☎306-3715 ②子育て相談窓口（市役所2階） ※面談のみ
就学相談	特別な教育的支援が必要な子どもの就学相談 園・学校生活、通級指導教室の利用に関する相談	就学前児、小・中学生とその保護者	月～金曜日 9:00～17:00	教育研究センター まなびサポート （富岡小学校内）☎381-7961
学校生活	学習、進路、問題行動など学校生活に関する相談	小・中学生とその保護者	月～金曜日 9:00～17:00	指導課（市役所7階） ☎712-6775
教育相談	不登校や子どもの友人関係、性格・行動等に関する相談	小・中学生とその保護者	月～金曜日 10:00～17:00	いちょう学級 猫実☎351-1151 入船☎711-2336
いじめ110番	いじめに関する相談	小・中学生とその保護者	月～金曜日 9:00～17:00	電話相談 *メール相談可 相談専用 ☎0120-211-380
青少年	問題行動、家庭生活など青少年に関する相談	20歳未満の青少年	月～金曜日 10:00～正午・13:00～16:00	青少年センター（市役所7階） 相談専用 *メール相談可 ☎351-1152
生涯学習相談	学びたいこと、習いたいことなどの相談	一般	月～金曜日 9:00～17:00	生涯学習課（市役所7階） ☎712-6792

小・中学校には、スクールライフカウンセラーが全校配置されており、直接、子ども・保護者からの相談（友達関係、学業、セクハラ、いじめ、不登校及び登校しぶりなど）に応じています。

教育情報誌



発行／浦安市教育委員会 浦安市猫実1-1-1 TEL:047-712-6732 企画・編集／教育政策課

浦安市教育振興基本計画では、「学び 育み 認め合い 『未来を創造する』人づくり」を基本理念として、学校、家庭、地域、行政が連携・協力し、豊かな浦安の未来を創造する人づくり、地域づくりを推進しています。

教育情報誌「うらやすスタイル」では、学校教育をはじめ、生涯学習の取り組み、地域と子どもとのかかわりなどの教育情報を発信していきます。